

基地問題

戦前の北谷村字と郷友会

郷友会とは、一般的に「仕事などを求めて郷里を離れた人々が異郷において結成する同郷集団」とされますが、ここでいう郷友会は、米軍の土地接収によりふるさとを奪われた人々が結成した同郷結合組織をさします。北谷町は嘉手納飛行場・キャンプ桑江・キャンプ瑞慶覧・陸軍貯油施設の4つの米軍施設が町総面積の約半分をしめており、戦前北谷村にあった集落（旧字）の多くが今も集落の全域あるいはその一部が米軍によって接収された状態にあります。旧字の住民たちは郷友会を結成し、所有財産の管理や伝統行事・親睦行事の実施、葬儀の際の互助などを行っています。

戦前の北谷村字と郷友会

